

教師教育の充実に向けた『学校安全学』の構築

岩手大学「学校安全学 シンポジウム2020」

テーマ「学校安全学の多元性と今日的課題」

趣 旨

本学では、2011年の東日本大震災津波の被災及びその後の復興プロセスの成果と課題の検証をとおり、教員養成の視点から「いわての復興教育」や防災教育に関する実践力の向上に取り組み、昨年度からは「学校安全学と防災教育」を教育学部の必修科目に据えている。また、今年度より教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センターを設置し、防災教育とともに危機管理等の視点を踏まえた学校安全学の確立と普及に努めている。

教育環境の複雑化・多様化とともに日本各地で記録的な自然災害が例年のように発生するなか、学校安全に関する取組が今日的課題として重要度を増してきている。学校安全に関する資質・能力を身につけた教員を世に輩出し現職教職員の資質・能力向上の一助となるのは、教員養成学部の責務である。

今回で3回目を迎えるシンポジウムは、学校安全の多元性をテーマとして掲げ、児童・生徒を守るための専門的な知識や実践の多元性に注目するとともに、それらを結び議論へとつなげていきたい。東北地方で蓄積されてきた防災教育に加えて「第2次学校安全の推進に関する計画」に記されている「セーフティプロモーションスクール」の取組に学ぶとともに、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校における新しい生活様式という多元的な切り口から学校安全の今日的課題について討議したい。

日 時：令和2年11月14日（土） 13時30分～16時10分

方 法：オンラインセミナー方式（Zoom Webinar を使用予定）

内 容：基調報告、シンポジウム

以下フォームから申し込みください。
(先着100名、参加費無料)

<https://forms.gle/kCedb7bhpnJcaPVj6/>

主催：岩手大学教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター、岩手大学教育学部、岩手大学教職大学院、岩手大学地域防災研究センター

共催：岩手県教育委員会

後援：日本安全教育学会（申請中）



プログラム

13:30～13:40 開会行事 開会挨拶 岩手大学学長 小川 智

13:40～13:50 基調報告「本学における学校安全学の実際」

教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター

副センター長 鈴木 久米男

13:50～16:00 シンポジウム

【テーマ】 学校安全学の多元性と今日的課題

【シンポジスト】

文部科学省男女共同参画共生社会学習・安全課

安全教育調査官 森本 晋也氏

大阪教育大学学校安全推進センター長 藤田 大輔氏

宮城教育大学防災教育研修機構副機構長 小田 隆史氏

教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター客員教授

仁昌寺 真一

【コーディネーター】

教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター教授 麦倉 哲

教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター准教授 本山 敬祐

16:00～16:10 閉会行事 閉会挨拶

教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター長 宇佐美 公生



【問い合わせ先】

岩手大学教育学部
学部運営グループ

Tel: 019-621-6505

E-mail: edujim@iwate-u.ac.jp

